

《担当者名》 熊谷 歌織 kaori@hoku-iryo-u.ac.jp 三津橋 梨絵

【概要】

がん経験者や家族への看護実践に必要な主要な知識について講義形式で学びながら、人ががんとともに生きるという意味と看護の役割について考察する。

【学修目標】

1. がん患者の体験としてがんサバイバーシップの概念およびプロセスを説明できる。
2. がんの集学的治療の特徴と看護支援について説明できる。
3. がん患者に対する緩和ケアの重要性および内容を説明できる。
4. がん患者の家族に対する支援とその重要性について理解できる。
5. がん患者に対するエンド・オブ・ライフケアの概要を説明でき、支援について理解できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	1. がん医療と患者・家族を取り巻く状況と体験(1)	がん患者とヘルスプロモーション	熊谷
2	1. がん医療と患者・家族を取り巻く状況と体験(2)	1) がんサバイバーシップの概念 2) がん患者のセルフ・アドボカシーを高める支援	熊谷
3	2. がん患者の症状マネジメント(1)	1) 患者主体の症状マネジメントと看護師の役割 2) 患者のセルフケアを高める支援	熊谷
4	2. がん患者の症状マネジメント(2)	がん疼痛をもつ患者の症状マネジメント	熊谷
5	3. がんの集学的治療と看護(1)	1) がん集学的治療の特徴と意思決定のための支援 2) がん医療における倫理	熊谷
6	3. がんの集学的治療と看護(2)	がん薬物療法を受ける患者の生活支援(1)	熊谷
7	3. がんの集学的治療と看護(3)	がん薬物療法を受ける患者の生活支援(2)	熊谷
8	3. がんの集学的治療と看護(4)	放射線療法を受ける患者の生活支援(1)	熊谷
9	3. がんの集学的治療と看護(5)	放射線療法を受ける患者の生活支援(2)	熊谷
10	4. がんとの共存を目指す患者の看護	難治性がんの内科的治療を受ける患者の支援	熊谷
11	5. がん患者と緩和ケア(1)	緩和ケアの定義と重要性	熊谷
12	5. がん患者と緩和ケア(2)	がんの支持療法、補完代替療法と看護支援 がん医療におけるチームアプローチと看護の専門性	熊谷
13	6. がん患者の家族に対する支援	がん患者とともに生活する家族に対する支援	三津橋
14	7. がん患者の エンド・オブ・ライフケア(1)	エンド・オブ・ライフにあるがん患者の心理・ 社会・スピリチュアルな側面へのアプローチ	三津橋
15	7. がん患者の エンド・オブ・ライフケア(2)	尊厳ある死を迎えるための看護師の役割	三津橋

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による。

【評価方法】

定期試験100%

定期試験結果は、希望者に対し個別に開示しフィードバックを行う。

【教科書】

鈴木久美 他：がん看護，南江堂，2021。（デジタル教科書）

【参考書】

小松浩子他：系統看護学講座 別巻 がん看護学，第3版，医学書院，2022。

恒藤暁，田村恵子編：系統看護学講座 別巻 緩和ケア，第3版，医学書院，2020.

榮木実枝監修：がん看護ビジュアルナーシング，学研，2015.

宮下光令編：ナーシング・グラフィカ 成人看護学（6）「緩和ケア」，第3版，メディカ出版，2022.

佐々木常雄，他編：がん薬物療法ベスト・プラクティス，照林社，2020.

濱口恵子，本山清美編：がん化学療法ケアガイド，第3版，中山書店，2020.

祖父江由紀子，他編：がん放射線療法ケアガイド，第3版，中山書店，2019.

【学修の準備】

授業資料および教科書の関連ページを熟読して授業に臨む。毎回の授業において事前・事後学習に必要な時間は、各2時間である。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP2. 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP4. 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実務経験】

熊谷歌織（看護師）、三津橋梨絵（がん看護専門看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関における看護師、がん看護専門看護師としての実務経験を活かし、がん経験者や家族がおかれる現状や課題、看護支援に関して具体例を交え、理解を深められるよう授業を行う。